

事業名	【継続】 島原市中小企業振興利子補給補助金				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
698万0					698万0
事業期間	平成26年度～平成32年度 (複数年度事業)			総事業費	

【事業目的】

中小企業金融円滑化法が平成25年3月31日をもって期限切れとなり、これまで債務返済を猶予されてきた中小企業者に対する資金繰りを支援します。

【事業概要】

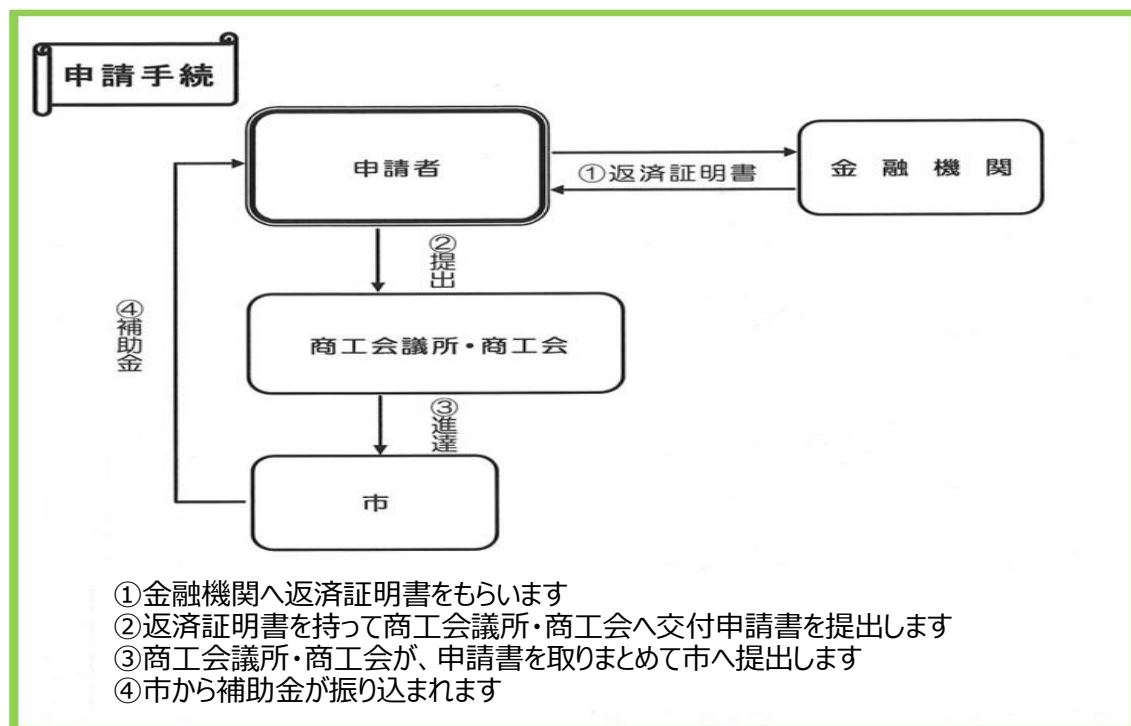
○対象者 : 下記要件をすべて満たす方。

- (1) 市内に1年以上住所を有する事業を営む個人又は市内に1年以上本店を有する法人
- (2) 平成26年4月1日以降に下記「対象となる融資」のいずれかの融資を受けた方
- (3) 市税等を完納している方

○対象融資 : 島原市中小企業振興資金、日本政策金融公庫の国民生活事業の事業資金

○補給額 : 対象者が実際に支払った利子額の50%(上限額12万円)

事業スキーム図



科目	7 款	1 項	2 目	目名称	商工業振興費	産業政策課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・事業の周知・広報 ・補助金審査・支給			・事業の周知・広報 ・補助金審査・支給		・事業の周知・広報 ・補助金審査・支給

事業名	【新規】 商店街活性化事業（しまばら出店応援ナビ事業）				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
180万0	60万0				120万0
事業期間	平成30年度～			総事業費	

【現状】空き店舗の増加

空き店舗の増加は、商店街内の個店の集積というメリット（魅力）を失い、中心市街地における地域の顔としてのイメージが損なわれ、来街者が商店街に活気がないように感じる要因となっている。

【課題】出店希望者と所有者のミスマッチ

家賃の折り合いがつかない、店舗の老朽化、所有者に貸す意思がない、など出店希望者と所有者のミスマッチが課題。空き店舗の増加により「商店街としての魅力の低下」が懸念される。

【事業の目的】まちの魅力と地域の価値向上

中心市街地における商店街の活性化を図ることで、まちの魅力を高め、地域全体の価値の向上を目的に魅力ある個店の立地を推進する。

1 出店応援ナビ制度

①空き家バンク制度を参考に『出店応援ナビ制度』を実施する。

②市のHP上で所有者と出店希望者をつなぐウェブサイトを開設する。

③所有者は、貸し出す物件を登録する。（場所、広さ、家賃、希望業種など）

④出店希望者は、希望条件を登録する。（場所、広さ、家賃、職種など）

2 マッチング支援

①希望に合う情報を紹介し、それぞれの条件が合えば、さらに詳しい条件を聞き取り、成約へつなげる。

②所有者が了承した物件については、サイトで公開したり、現地で見学会を行ったりする。

③出店が決まれば、『しまばら創業サポートセンター』の専門支援員の指導の元、ビジネスプランを策定する。



3 出店初期費用支援

①策定したビジネスプランを基に、必要な支援を実施する。（資金調達、各種許認可、補助金申請）

②市の補助金制度として、出店にかかる初期費用について支援を行う。

- 改装費補助…改装に要した経費（補助率1/2以内、上限25万円）
- 広告宣伝費補助…チラシ、HPの作成費用（補助率1/2以内、上限5万円）



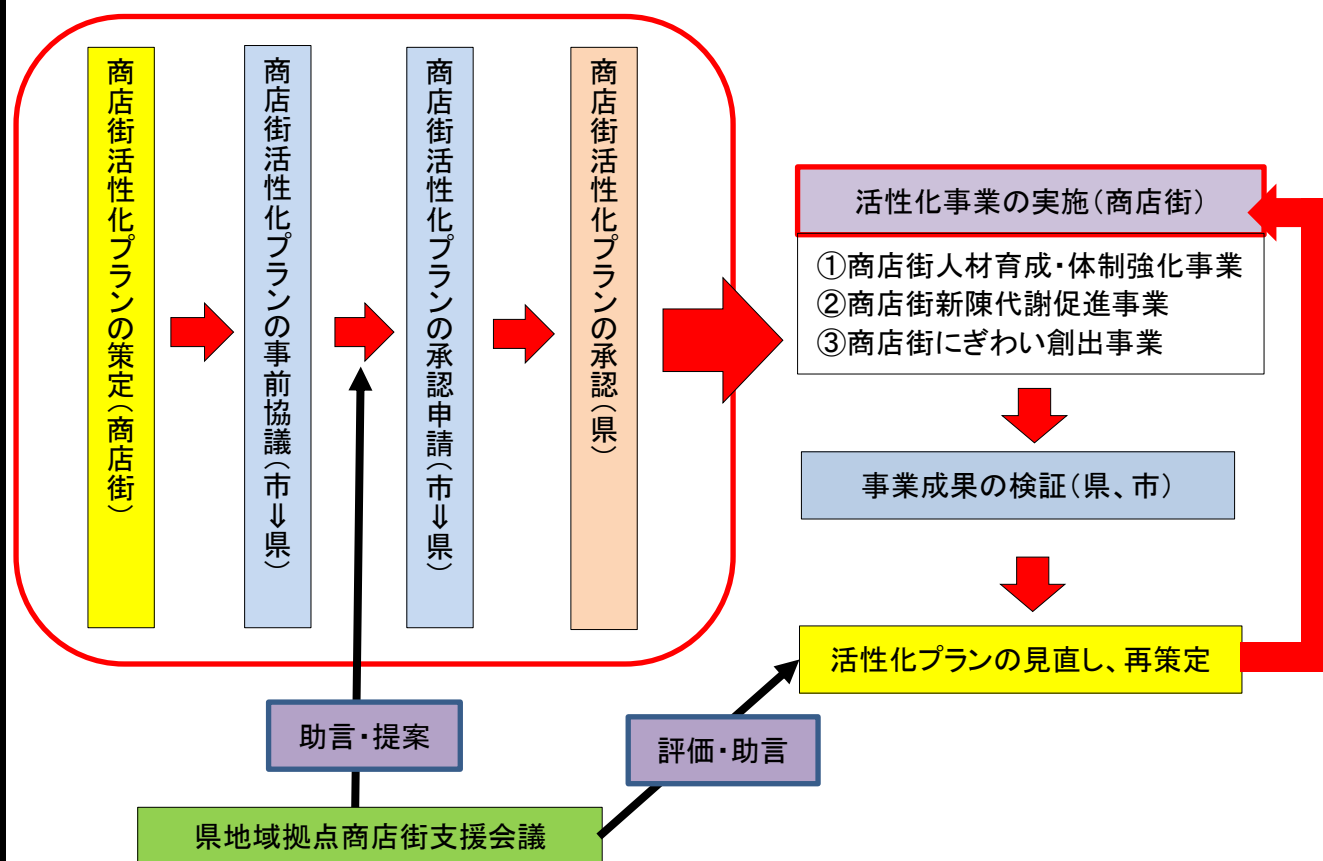
科 目	7 款	1 項	2 目	目 名 称	商工業振興費	産業政策課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	—			- 空き家情報の収集、提供 - 出店希望者への支援		- 空き家情報の収集、提供 - 出店希望者への支援

事業名	【新規】 地域拠点商店街支援事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
160万0		60万0			100万0
事業期間	平成30年度～			総事業費	

【事業目的】

まちなかにおいて、地域の拠点となる商店街の活性化を図り、地域経済・地域づくりを支える持続可能な商店街づくりを支援するため、商店街活性化プランの策定及び事業実施に要する費用の一部について、県と市が協調して補助金を交付します。

【事業概要】



【補助率】

県 : 3/10 市 : 5/10 商店街 : 2/10 (自己負担分)

科目	7 款	1 項	2 目	目名称	商工業振興費	産業政策課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	—			商店街活性化プランの作成		活性化事業の実施

事業名		【継続】 企業立地促進・雇用創出事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他 一 般 財 源	
2,937万7					2,937万7	
事業期間		平成24年度～			総事業費	
【事業目的】 本市における新規企業の立地及び地場企業の拡大を促進するため必要な支援措置を講じ、産業の振興と雇用の創出を図ることを目的とします。						
【事業概要】						
【支援対象業種】 ①製造業 ②自然科学研究所 ③機械修理業 ④情報サービス業 ⑤宿泊業 ⑥技術サービス業 ⑦物流関連業		両方の要件を満たすこと 事業の指定 事業が指定されると、支援メニューに沿った奨励金を支給。 【支援対象要件】 島原市に新設・増設・移設・改修を行う事業者が以下の要件を満たす場合に支援を行います。 【新設の場合】 投下固定資産額：2,500万円以上 新規雇用者の増加：5人以上 【増設・移設の場合】 投下固定資産額：1,000万円以上 新規雇用者の増加：1人以上 【改修の場合】 改修に要した額：2,500万円以上 新規雇用者の増加：5人以上				
【支援メニュー】						
①立地奨励金 ◆投下した固定資産額にかかる固定資産税相当額を3年間補助		③土地家屋賃借奨励金 ◆土地・家屋賃借料の25%を3年間補助（限度額1年間で1,000万円）				
②施設整備奨励金 ◆投下した固定資産額（土地代を除く）の取得額又は改修に要した経費に新規雇用者の数に応じて一定の率を乗じた額を補助（限度額1億円）【改修：2,000万円】		④雇用奨励金 ◆新規雇用した人数に対する補助 正規雇用者…50万円／人 短時間雇用者…25万円／人（限度額 5,000万円）				
科目	7 款	1 項	2 目	目 名 称	商工業振興費	産業政策課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・事業の周知・広報 ・指定にかかる審査・決定 ・各奨励金の支給			・事業の周知・広報 ・指定にかかる審査・決定 ・各奨励金の支給		・事業の周知・広報 ・指定にかかる審査・決定 ・各奨励金の支給

事業名	【継続・人口減少対策】 雇用拡大支援事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
350万0					350万0
事業期間	平成27年度～			総事業費	

【事業目的】

若者の雇用の場を確保するため、市内に居住する新規学卒者を雇用した市内事業所を支援します。

【事業概要】

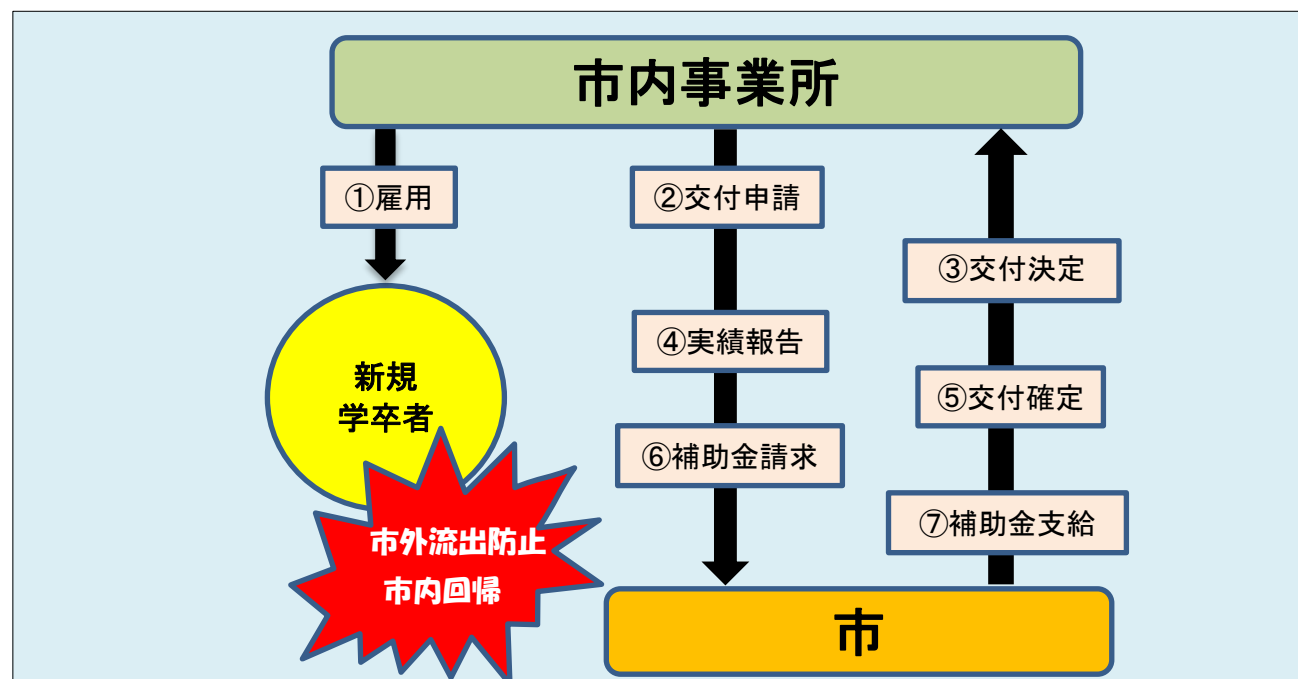
島原商工会議所及び有明町商工会の会員事業所が新規学卒者を正規雇用した場合、1年間の雇用の確認後に雇用増加人数に応じた補助金を交付します。

【対象】

- ①島原商工会議所及び有明町商工会の会員事業所
- ②新規学卒者を正規雇用し、かつ、1年間雇用した事業所
- ③市税等を完納している事業所

【補助率等】

- ①中学・高校卒業者1人あたり 15万円
- ②専門学校、短大、大学等卒業者1人あたり 20万円



科目	7 款	1 項	2 目	目名称	商工業振興費	産業政策課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・市内事業所への周知・広報 ・補助金の審査・支給			・市内事業所への周知・広報 ・補助金の審査・支給		・市内事業所への周知・広報 ・補助金の審査・支給

事業名	【新規】 島原半島若者定着促進協議会負担金				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
32万5					32万5
事業期間	平成30年度～			総事業費	

【事業目的】

島原半島の高校に通う生徒等に半島内企業を知ってもらい、地元への就職を促進します。

【事業概要】

- ①企業ガイドブックの作成及び生徒への配布
- ②企業説明会の実施

【対象企業】

半島内に事業所を有し、半島内高校を卒業する生徒に対し求人を行う企業

【企業説明会参加企業数】

50社程度

【対象とする生徒】

島原半島内高校または、島原半島3市から県央地区高校に通学する平成31年3月卒業予定の主に就職希望の生徒等

【企業説明会実施予定日】

平成30年6月13日（水）

【会場】

島原復興アリーナ メインアリーナ

【主催】

- ・島原振興局（事務局） ・島原市 ・雲仙市 ・南島原市 ・商工会議所 ・商工会
- ・ハローワーク（諫早・島原）



科目	7 款	1 項	2 目	目 名 称	商工業振興費	産業政策課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	—			・企業ガイドブックの作成及び生徒への配布 ・企業説明会の実施		・企業ガイドブックの作成及び生徒への配布 ・企業説明会の実施

事業名	【継続】 創業支援事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
111万4					111万4
事業期間	平成27年度～			総事業費	

創業時雇用支援事業

【事業目的】

創業者の雇用面での支援を行い、雇用の場の確保を図ります。

【事業概要】

国の創業関係補助金の採択を受けた事業者に対して一時金を支給し雇用面での支援を行います。

【対象】

- ①国の創業関係補助金の採択を受け、かつ、1年間雇用を行った事業者
- ②市税等を完納している事業者

【補助率等】

新規雇用者1人あたり 20万円

雇用面
の支援

創業支援等利子補給事業

【事業目的】

融資借受人の負担を軽減し、もって市内中小企業者の経営の安定を図ります。

【事業概要】

県の中小企業者向け融資制度「創業バックアップ資金」、「地域産業支援資金」、「地方創生推進資金」及び日本政策金融公庫国民生活事業の創業関係融資を受けている者に対し、利子の補給補助を行います。

【対象融資】

- ・創業バックアップ資金等の県融資制度
- ・日本政策金融公庫の創業関係融資

【対象者】

- ・事業を営む市民又は市内に本店を有する法人
- ・創業前の市民又は市内に本店を有する法人
- ・市税等を完納している方

【補助率等】

支払った利子の50%

経営面
の支援

科目	7 款	1 項	2 目	目名称	商工業振興費	産業政策課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	・事業の周知・広報 ・補助金の審査・支給			・事業の周知・広報 ・補助金の審査・支給		・事業の周知・広報 ・補助金の審査・支給

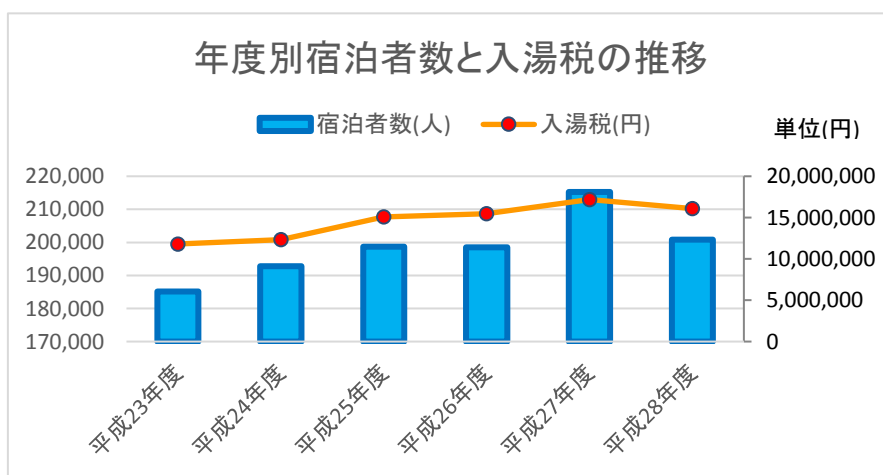
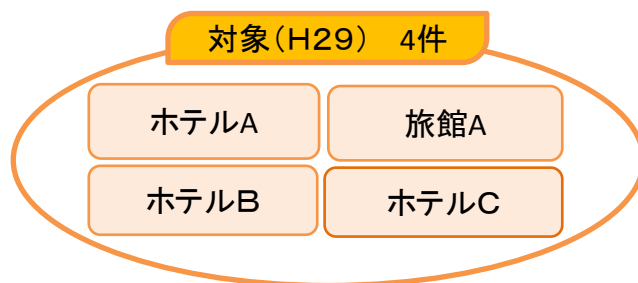
事業名	【継続】 観光宿泊施設支援事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,869万5					1,869万5
事業期間	平成23年度～			総事業費	

【事業目的】

観光の基幹となる温泉給湯事業を利用するホテル・旅館に対して支援を行います。
官・民が力を合わせ、これからの観光である滞在交流型の観光案内を目指すことで、
観光の振興を図り、観光産業の存続及び雇用の場の確保を図ります。

【事業概要】

- 対象者** 温泉給湯事業を利用する市内の宿泊施設
- 対象経費** 観光の振興に寄与する事業にかかる経費
ア. 宣伝、PRに要する経費
イ. 借上げ等に要する経費
ウ. 地元の食材の提供等、地産地消に要する経費
- 補助限度** 当該年度の供給量に係る温泉使用料のうち納付した額の2分の1を上限
- 証明添付** 市税及び温泉使用料の滞納がないことを証する書類



※これまで、入湯税収入(宿泊者数)は、順調に増加してきていました。
(H28は、熊本地震で減)

※今後もまち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標値の達成に向けて取り組んでいきます。

※目標値
 〔 宿泊者 25万人 〕
 〔 入込客 200万人 〕

科目	7 款	1 項	3 目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	本市温泉給湯事業を利用する宿泊施設を対象に、本市観光振興に寄与する事業に係る経費に対する補助			引き続き実施		引き続き実施予定

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書

213P

事業名	【継続】 島原城七万石物語事業				
	財 源 内 訳 (単位：千円)				
当初予算額	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,500万0	750万0				750万0
事業期間	平成26年度～			総事業費	

【事業目的】

観光誘客の拡大を図るため、島原藩七万石の成り立ちを歴代藩主等の登場を含めながら史実に基づき、往時を彷彿させるような歴史演出等を行うことで、島原ならではの魅力体験などを通して観光客の満足感・充実感を高め、観光の活性化を図ります。

【事業概要】

- ・島原城七万石武将隊として、観光施設等を中心に演舞披露や和楽器演奏を行います。
- ・観光客へのおもてなしサービスをはじめ、幅広く市民にも愛着を持ってもらうため、市内各団体との交流や、市内のイベント等においてPR活動を行います。
- ・観光客に甲冑等を羽織らせる武将体験や島原城内外での案内の実施、観光情報の提供などで、島原の魅力を発信します。
- ・市内外を問わずお祭りやイベント等へ島原城七万石武将隊として積極的に参加し、演舞披露を行います。
- ・インターネット等を活用して、全国各地で結成されている武将隊や戦国マニアとの情報交換や情報発信を行い、交流人口の増加を図ります。
- ・武将隊によるガイドやカフェ等のオリジナル企画の実施や、武将隊グッズの開発・販売を行います。



科目	7 款	1 項	3 目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前 年 度 ま で			今 年 度		来 年 度 以 降
	島原城に武将隊を配置してのおもてなし活動や、市県外での観光PR実施			島原城に武将隊を配置してのおもてなし活動や、市県外での観光PR実施		島原城に武将隊を配置してのおもてなし活動や、市県外での観光PR実施

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
213P

事業名		【継続】 湧水城下町おもてなし事業				
当初予算額		財源内訳				(単位：千円)
		国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,300万0		650万0				650万0
事業期間		平成26年度～			総事業費	

【事業目的】

本市特有の財産である湧水や城下町などの魅力を発信する観光案内人の配置をはじめ、島原らしい体験メニューなどのコンテンツ開発等を行うことで、観光客の市内滞在時間延長と観光消費額の向上を図ります。

【事業概要】

- ① 郷土料理“かんざらし”の手づくり体験
- ② 島原城や鯉の泳ぐまち、浜の川湧水など歴史や湧水を活用した子どもから大人まで楽しめる参加型イベントの企画・運営
- ③ 観光案内人の配置



かんざらし手作り体験



島原駅観光案内所



キャッスルモンスター謎解き体験



科目	7 款	1 項	3 目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	かんざらし手作り体験、参加型イベントの企画・運営、島原駅等への案内人の設置			かんざらし手作り体験、参加型イベントの企画・運営、島原駅等への案内人の設置		かんざらし手作り体験、参加型イベントの企画・運営、島原駅等への案内人の設置

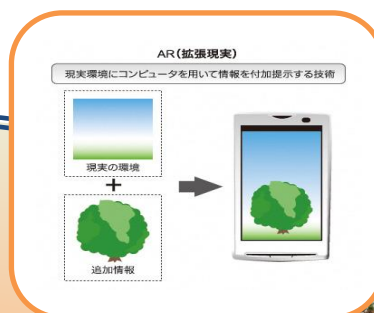
事業名	【新規】島原めぐり事業				
	財源内訳 (単位：千円)				
当初予算額	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,350万0		540万0			810万0
事業期間	平成30年度～平成32年度 (複数年事業)			総事業費	

【事業目的】

観光客の滞在時間延長と観光消費額の増加を図るため、島原城や鯉の泳ぐまち等を中心とした観光施設等をめぐる路線バスの運行実証を行うとともに、観光スポットにおける案内・説明のためのAR技術の活用およびfree wi-fiの提供、夜間における島原城の有効活用を行うなど、島原ならではの風情やおもてなしを感じながら気軽に周遊できる環境をつくります。

【実施主体】

(株) 島原観光ビューロー



【しまばらめぐりんバス】

1日14便

(7便×正逆回り運行)



科目	7款	1項	3目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	なし			観光客の滞在時間の延長、観光消費額の増加のための環境整備		観光客の滞在時間の延長、観光消費額の増加のための環境整備

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書

215P

事業名		【継続】 島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設指定管理料																										
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)																										
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他 一 般 財 源																							
900万0					900万0																							
事業期間	平成28年度～平成30年度 (複数年度事業)			総事業費																								
【事業目的】 島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設の管理運営に関して、民間の能力を活用しつつ、管理施設の効率的、効果的な運営を行う事により、集客の促進を図り、併せて公共の福祉の増進に資すること及び本市の有する観光資源を活用し、円滑な運営や施設整備による観光振興や交流人口の増加を図ります。																												
【事業概要】 1. 指定管理者 株式会社島原観光ビューロー 2. 指定期間 平成28年10月1日～平成31年3月31日 3. 施設概要 (1)島原城																												
		<table><tr><td>施設名</td><td>(建築年度)</td><td>(面積)</td><td>(H28年度入館者数)</td></tr><tr><td>①天守閣</td><td>昭和39年</td><td>1,975 m²</td><td rowspan="6">127,963人</td></tr><tr><td>②西の櫓</td><td>昭和35年</td><td>259 m²</td></tr><tr><td>③巽の櫓</td><td>昭和47年</td><td>274 m²</td></tr><tr><td>④丑寅の櫓</td><td>昭和55年</td><td>326 m²</td></tr><tr><td>⑤観光復興記念館</td><td>平成 8年</td><td>514 m²</td></tr><tr><td>⑥休憩所 (売店)</td><td>平成 3年</td><td>252 m²</td></tr></table>				施設名	(建築年度)	(面積)	(H28年度入館者数)	①天守閣	昭和39年	1,975 m ²	127,963人	②西の櫓	昭和35年	259 m ²	③巽の櫓	昭和47年	274 m ²	④丑寅の櫓	昭和55年	326 m ²	⑤観光復興記念館	平成 8年	514 m ²	⑥休憩所 (売店)	平成 3年	252 m ²
施設名	(建築年度)	(面積)	(H28年度入館者数)																									
①天守閣	昭和39年	1,975 m ²	127,963人																									
②西の櫓	昭和35年	259 m ²																										
③巽の櫓	昭和47年	274 m ²																										
④丑寅の櫓	昭和55年	326 m ²																										
⑤観光復興記念館	平成 8年	514 m ²																										
⑥休憩所 (売店)	平成 3年	252 m ²																										
		(2)鯉の泳ぐまち観光交流施設																										
		<table><tr><td>施設名</td><td>(建築年度)</td><td>(面積)</td><td>(H28年度入館者数)</td></tr><tr><td>①観光交流センター清流亭</td><td>平成27年</td><td>119 m²</td><td>79,325人</td></tr><tr><td>②しまばら湧水館</td><td>昭和10年</td><td>159 m²</td><td>22,751人</td></tr><tr><td>③湧水庭園四明荘</td><td>大正 9年</td><td>129 m²</td><td>75,560人</td></tr></table>				施設名	(建築年度)	(面積)	(H28年度入館者数)	①観光交流センター清流亭	平成27年	119 m ²	79,325人	②しまばら湧水館	昭和10年	159 m ²	22,751人	③湧水庭園四明荘	大正 9年	129 m ²	75,560人							
施設名	(建築年度)	(面積)	(H28年度入館者数)																									
①観光交流センター清流亭	平成27年	119 m ²	79,325人																									
②しまばら湧水館	昭和10年	159 m ²	22,751人																									
③湧水庭園四明荘	大正 9年	129 m ²	75,560人																									
科目	7 款	1 項	3 目	目 名 称	しまばら観光おもてなし課																							
事業計画	前 年 度 ま で			今 年 度	来 年 度 以 降																							
	H28 島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設 7,500千円			島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設一括指定管理 翌年度以降指定管理者の選定	同施設の新規指定																							
	H29 島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設 17,000千円																											

事業名		【継続】 銀水・浜の川湧水賑わい創出事業				
当初予算額		財源内訳				(単位：千円)
		国費	県費	地方債	その他	一般財源
875万0					875万0	
事業期間		平成29年度～			総事業費	
【事業目的】 平成30年度の銀水運営は、「どこか懐かしい場所」「何だか懐かしい味」をコンセプトに、島原城や鯉の泳ぐまちなどの主要観光スポットと一味違う、島原らしさを演出しながらも地域おこし協力隊による新たなアイディアを融合させ、新たな魅力的な観光交流スポットとして、また、地域活性化の拠点として、交流人口の増加と滞在時間の延長を図れる周遊観光の拠点スポットとして事業運営を行います。						
【事業概要】						
主要観光スポット 島原城  鯉の泳ぐまち  銀水復活 新たな魅力的な観光スポットの創出 昔からのコミュニティ・湧水スポット 浜の川湧水：共同洗い場 + 銀水  観光客と地域住民が交流できるスポットの創出 地域おこし協力隊員 地域外からの新たな視点・発想 + 地元住民の方々 伝統・経験・継承 観光交流人口の増加・滞在時間の延長 島原らしさを演出した新観光スポットとして 周遊観光の拠点づくり 地元住民との協働による地域活性化 銀水かんざらし復活・新しいアイデアの湧出						
科目	7款	1項	3目	目名称	商工費	しまばら観光おもてなし課
	前年度まで			今年度	来年度以降	
事業計画	平成28年度	保存修理工事		銀水・浜の川湧水賑わい創出 周遊観光の拠点として活用		周遊観光の拠点として 引続き活用実施予定
	平成29年度	賑わい創出事業				

3. 歴史と文化を活かした観光都市づくりと交流人口の拡大

当初予算書
217P

事業名		【新規】 島原城整備事業				
当初予算額		財 源 内 訳 (単位：千円)				
		国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,550万0			1,820万0	2,620万0		110万0
事業期間		平成30年度～			総事業費	
【事業目的】 平成30年度には、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録が想定される中、島原城天守閣内に展示されているキリシタン史料の劣化防護と併せて、登閣する観光客へのサービス向上による、登閣者数の増加を図ります。						
【事業概要】 事業主体 島原市 事業期間 平成30年度から 事業内容 「島原城天守閣」に空調設備を設置します。 ・天守閣空調設備設置工事設計：実施設計を行い監理業務を委託。 ・天守閣空調設備設置機械工事：電気設備を高圧受電設備に更新。 ・天守閣空調設備設置電気工事：天守閣内に空調設備を設置。						
 						
科目	7 款	1 項	3 目	目名称	観光費	しまばら観光おもてなし課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	—			島原城整備事業 天守閣空調設備設置工事		—

2. 産業の振興と島原地域ブランドの確立

当初予算書

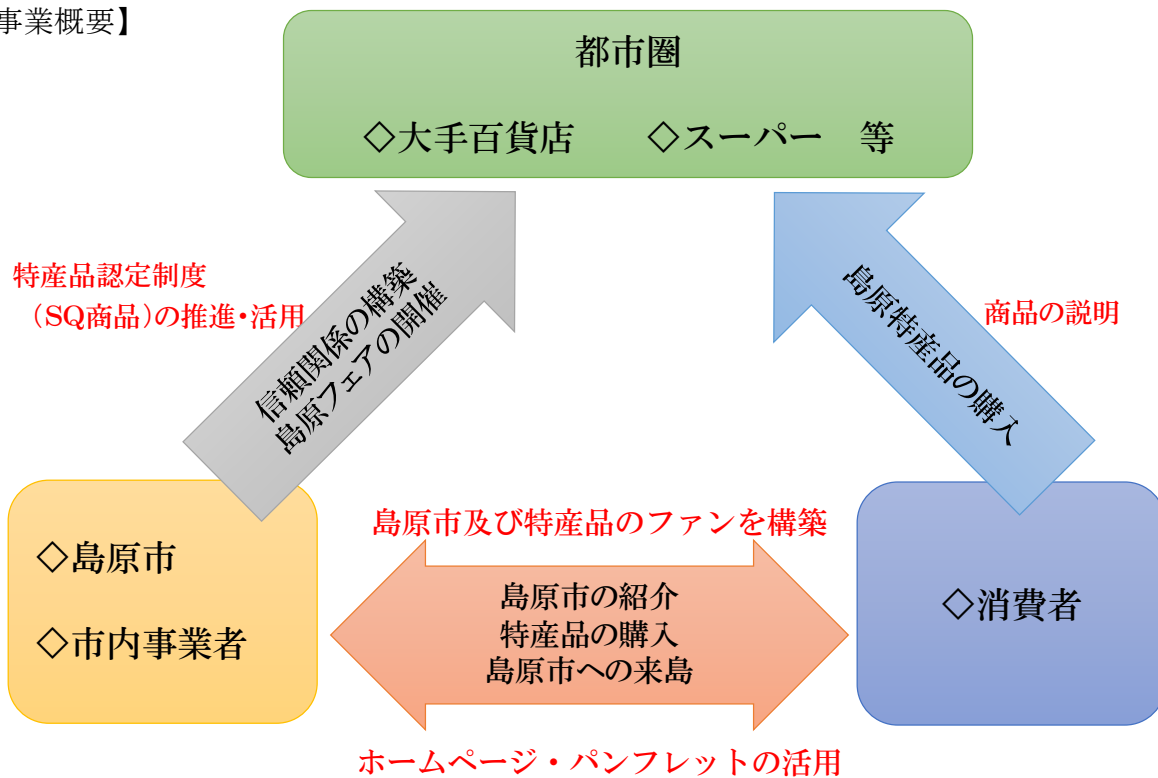
219P

事業名	【継続】 特産品PR催事事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
735万9					735万9
事業期間	平成21年度～			総事業費	

【事業目的】

本市特産品のブランド化の一環として、特産品の魅力が向上し、消費者に愛される産品となるように、特産品認定制度・特産品創出を推進するとともに、各種催事等を積極的に活用し情報発信・PRを行い、大手百貨店やスーパー等での流通促進や販路拡大に繋がります。

【事業概要】



科目	7款	1項	4目	目名称	ふるさと産業振興費	しまばらブランド営業課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	物産展等を活用した本市特産品の情報発信・PR			物産展等を活用した本市特産品の情報発信・PR		物産展等を活用した本市特産品の情報発信・PR

2. 産業の振興と島原地域ブランドの確立

当初予算書

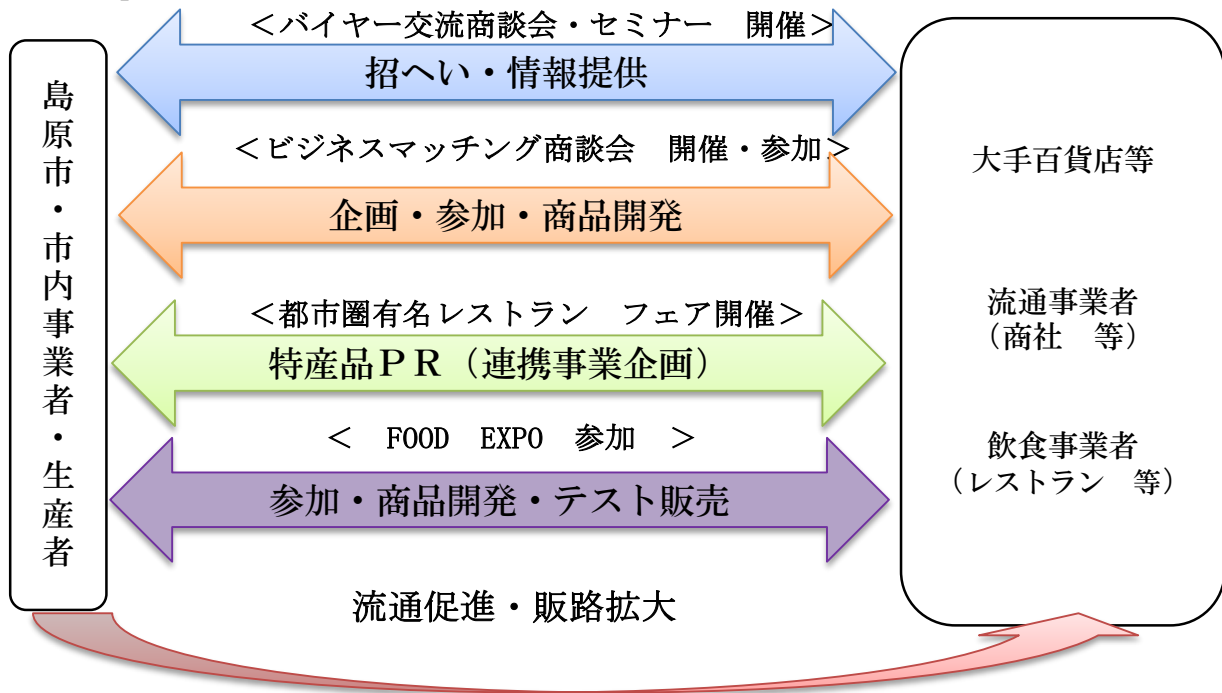
221P

事業名	【継続】 特産品流通促進事業				
当初予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)				
	国 費	県 費	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
566万3					566万3
事業期間	平成21年度～			総事業費	

【事業目的】

本市特産品が都市圏の市場において、常備商品としての定着化を図るために、バイヤー交流商談会やセミナーを開催するとともに、市内事業者を都市圏で開催されるビジネスマッチング商談会やFOOD EXPO等への参加を図り、より広域、より多い販路拡大の機会が得られるよう支援します。レストランにおいても島原産品を食材としたフェアを開催することで、島原の農畜水産物のイメージアップと飲食業への販路開拓を目指します。

【事業概要】



科目	7 款	1 項	4 目	目名称	ふるさと産業振興費	しまばらブランド営業課
事業計画	前年度まで			今年度		来年度以降
	バイヤー交流セミナー・ビジネスマッチング商談会の開催、百貨店等への常備商品流通。			バイヤー交流セミナー・ビジネスマッチング商談会の開催、百貨店等への常備商品流通。		バイヤー交流セミナー・ビジネスマッチング商談会の開催、百貨店等への常備商品流通。